

報告

出前講座を行いました

◎観察の基礎—鳥類の生態と保全—

実施日：平成25年10月13日（日） 参加者：八ヶ岳総合博物館 市民研究員他 15名

今年度から博物館では、一般市民と博物館が協力しあいながら調査研究を進める「市民研究員」制度を実施しており、その学習の一環として出前講座を希望されました。研究所で実施している鳥類の生態と保全に関する調査研究の中から、①高山帯における生態系モニタリング推進プロジェクト、②ライチョウ生息域への温暖化影響予測、③市民参加型の温暖化影響モニタリングについて解説しました。来年度、鳥類の調査をされるということで、何とか前に進めたいという熱意が感じられました。

（堀田 昌伸 kanken-shizen@pref.nagano.lg.jp）

◎地球温暖化の現状と農業分野の将来予測

実施日：平成25年12月4日（水） 参加者：JA北信州みゆき 営農技術員、営農部職員 20名

温暖化・異常気象について、営農技術員の基礎知識として研修を行いたいという要望がありました。気候変動の現状、気候変動の予測、1 kmメッシュの早期警戒情報について解説しました。当地の農業は近年の夏～秋季の高温化による影響を受けており、今後この高温化が継続するかについて多くの質問がありました。現在と今世紀末の間をつなぐ短期的な気候変動・影響予測と、それに対する農業分野の具体的な適応策の提示の必要性を感じました。

（田中 博春 kanken-shizen@pref.nagano.lg.jp）

報告

公開セミナーを開催しました

平成25年（2013年）度の環境保全研究所公開セミナーを、11月30日（土）に信濃町総合会館、12月8日（日）に茅野市議会議棟で開催し、各々70名、178名の計248名の皆様にご参加いただきました。多数の皆様にご参加・ご協力いただき、ありがとうございました。

お知らせ

H25年度外部評価を公表しました

平成25年（2013年）8月21日に平成25年度長野県環境保全研究所外部評価委員会を開催し、評価を受けました。平成25年度に実施している研究テーマ（9課題）について評価を受け、貴重な提言や指摘をいただきました。結果と今後の対応を、当所ホームページ<http://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/chosa/hyoka/documents/25kekka.pdf>に掲載しましたので、ご覧ください。

（宮川 あし子 kanken@pref.nagano.lg.jp）

編集後記

- 48号をお届けします。
- 本誌は当研究所の活動や、長野県の環境保全及び保健衛生に関する情報をわかりやすく提供することを目的に発行しています。お気づきのことがありましたら、お気軽にご連絡ください。

（編集担当：企画総務部 電話：026-227-0354）

次号の予告

次号は6月に発行予定です。